

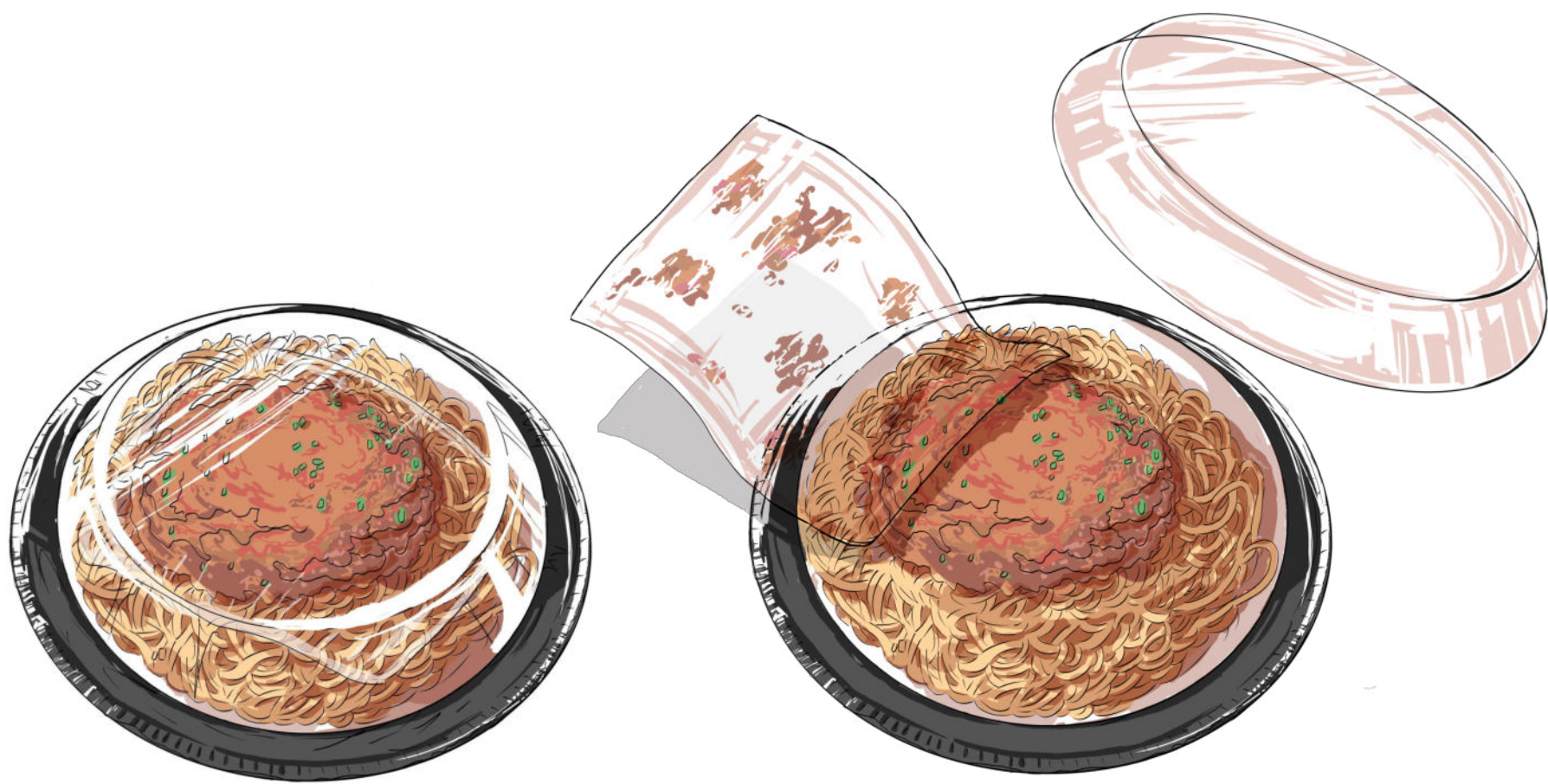
耐熱性ポリスチレン樹脂による環境対応のご提案

耐熱性ポリスチレン(MM290)の特長

- 透明性を維持しながら高耐熱性(ビカット軟化温度:124℃)を実現。
- 一般ポリスチレン樹脂と同等のリサイクル性で、ケミカルリサイクルも可能。
- ケミカルリサイクル原料やバイオマス由来原料を割り当て可能(エコマークの認定取得が可能)。

食品容器での樹脂使用量削減案(開発中)

- 従来のOPS製透明フタはレンジアップ時に食品油(ソース等)接触で穴開きや変形が発生。



- 耐熱性ポリスチレンの機械強度や耐薬品性を向上させた改良品を開発中。従来は必要とされた食品油とOPS製フタの接触を防ぐPPフィルムレスによる樹脂使用量の削減を提案。

他素材からの素材代替のご提案

- 低比重であり、ポリカーボネートまたは耐熱アクリル対比で約10%軽量化が可能

樹脂	比重	流動性(せん断粘度) ※試験速度:2000/s [Pa・s]	耐熱性 (ビカット軟化温度) [℃]	透明性	鉛筆 硬度	耐光性	吸水性	衝撃 強度
MM290	◎ 1.08	◎ 84 (測定温度:240℃)	○ 124	○	○ H	○	○	△
耐熱PS耐薬品性改良品	○ 1.11	◎ 90 (測定温度:240℃)	○ 121	○	○ 2H	○	○	△
耐熱アクリル	△ 1.19	△ 170 (測定温度:240℃)	○ 119	○	○ 3H	◎	△	△
ポリカーボネート	△ 1.20	△ 200 (測定温度:280℃)	◎ 145	○	△ 2B	○	○	◎

MM290の透明性

(30cm長光路試験片の分光透過率)

